

### 3月定例会

# 平成23年度一般会計・特別会計予算等を可決

一般会計歳入歳出予算額 261億2300万円

特別会計歳入歳出予算額 161億2195万2千円

## 会期日程

- 2月25日
  - ・会期の決定
  - ・会議録署名議員の指名
  - ・施政方針
  - ・施政方針に対する質疑
  - ・議案等の上程
  - ・提案理由の説明
  - ・予算審査特別委員会の設置
  - ・予算審査特別委員会委員の選任
  - ・予算審査特別委員会
- 28日・3月1日 (考案日)
- 2日
  - ・一般質問(5人)
- 3日
  - ・一般質問(5人)
- 4日
  - ・一般質問(1人)
  - ・議案等の質疑
  - ・議案等の委員会付託
- 7・8・9日
  - ・常任委員会
- 10・11・14日
  - ・予算審査特別委員会
- 15・16日 (事務整理日)
- 17日
  - ・議案等の審議
  - (委員長報告・質疑・討論・採決)
  - ・追加議案等の上程
  - ・提案理由の説明
  - ・追加議案等の審議
  - (質疑・討論・採決)
  - ・諸般の報告

平成23年第1回定例会は、2月25日に招集され3月17日までの21日間の会期日程で開会しました。

本定例会の初日、市長は、新年度の市政の重点施策6つの柱を掲げて「親子と孫が一緒に暮らす朝倉市」の本格始動の年にしていきたいと施政方針を述べられ、これに対し、7人の議員が質疑しました。その後、平成23年度一般会計及び特別会計予算12件、補正予算について8件、条例の一部改正及び条例の制定に

ついて9件、その他9件が上程され、合計38議案の提案理由説明、請願3件の説明があり議案の議決が議員に求められました。

一般質問では、11人の議員が質問に立ち、市民の安心と安全な生活を守る市政を目指して執行部と活発な議論を交わしました。

会期の途中に甘木・朝倉広域市町村圏事務組合のふるさと振興基金の処分に関する議案と、それに関する補正予算が追加上程された後、各議案は各常任委員

会に付託され、付託を受けた常任委員会は執行部の詳しい資料提出・説明を受け質疑・討論を行いました。

最終日に、各常任委員長から、付託されていた議案について審査報告を受けた後、質疑・討論・採決を行い、原案通り可決しました。

定例会の最終日、人事案件2件(教育委員会委員・人権擁護委員の推薦)と発議案1件が追加上程され、審議の結果いずれも同意・可決されたのち、本定例会を閉会しました。

### 平成23年 市長施政方針 (要旨)

平成23年度当初予算

は、市長就任後、本格的に編成する最初の予算となります。皆様にお約束いたしました「親子と孫が一緒に暮らす朝倉市」をめざして、課題解決を図る出発点となるものです。私に寄せられた期待と責任の重さを肝に銘じ、市民に信頼される市政の推進に努めて参ります。

⑥ 地方分権時代に対応した新しい朝倉づくり

平成23年度の当初予算は、財源補てんのための基金繰入に頼ることなく編成することができました。平成21年度も黒字であり、収支だけを見れば良好な財政状況であります。しかしながら、平成28年度から普通交付税の優遇措置が順次減少していくことを想定し、一層引き締めた財政運営が求められています。現在進めています「第2期朝倉市行政経営改革プラン」に基づき、事務事業の効率化、財政基盤の確立、組織・定員の適正化等を推進して参ります。

- ① 働く場のある朝倉づくり
  - ② 子育て・長生きが楽しい朝倉づくり
  - ③ 次代へつなぐ協働の朝倉づくり
  - ④ 安全・安心で快適に暮らせる朝倉づくり
  - ⑤ 環境にやさしい朝倉
- 私は、積極果敢に、率先して行政課題に挑戦し、ふるさと「朝倉市」の未来を切り開いていく決意であります。